

倫理審査申請書

令和 3年 9月 28日提出
年受付番号 176-210930熊本リハビリテーション病院
倫理委員会委員長 様代表申請者
所属：看護部 2病棟
職名：看護師
氏名： 養田 美幸

所属長の印

今永 博之



下記の研究について倫理審査を申請します。

研究課題名

学会認定運動器看護師資格取得に伴う事例報告

共同研究者名	所属	職名
他 名		

概要（具体的に記載すること）

① 審査対象（いずれかに○を） 1. 研究計画書 2. 学会発表原稿 3. 出版原稿 ④. その他(実践報告)

② 研究の背景と目的

運動器疾患患者への看護実践事例を通して振り返りを行い、患者への関わりをアセスメントし、看護問題や目標の妥当性はどうか、問題にあった対応を行っていたかを検討し、考察していく。

今回、80歳代女性、第12胸椎破裂骨折術後に粟粒結核を併発し、転院を繰り返したことでの筋力低下、及び認知機能低下による意欲の低下で離床が進まなかった。運動器看護に関わる看護師として何かでき、何ができなかったのか、今後、どのような看護を行う必要があるのかを振り返り、運動器看護に対する質の向上を行うことを目的とする。

③ 対象及び方法

対象：A氏（750257）

診療録および看護記録より情報収集を行い、看護経過を記述し看護介入への分析を行う

④ 実施場所及び実施機関

2病棟 熊本リハビリテーション病院

⑤ データ収集期間

R3年 4月 12日 ～ R3年 8月 26日

⑥ 研究における倫理的配慮について（Ⅰ～Ⅲは必ず記載のこと）

Ⅰ 研究等の対象とする個人の人権擁護（問題あり ・ 問題なし）

Ⅱ 研究等の対象とする者に理解を求め同意を得る方法（書類 ・ 口頭）

Ⅲ 研究等によって生ずる個人への不利益並びに危険性（あり ・ なし）

Ⅳ 研究等によって生ずる医学上の貢献の予測（あり ・ なし）

Ⅴ その他（ ）

事例報告についてご協力のお願い

患者さまの看護について、今後行われる学会や研究会で、事例報告として発表させていただくことについて、承諾いただけますようお願い申し上げます

1. 目的

事例報告は、看護の成果などについて、医療者同士の経験を共有するために行います。今後の看護のさらなる進歩に関与するものであり、人々の健康や安寧に役立てられます。

2. 方法

診療録および看護記録などカルテ情報などをもとに看護の経過を記述します。

3. 個人情報について

発表にあたり、患者さまのプライバシーを保護し、個人情報が特定されないよう十分配慮します。

- ・ 氏名は一切記載せず、イニシャルなどの表示もいたしません。
- ・ 生年月日および住所は表示いたしません。
- ・ 年齢・性別は、〇〇歳代、男性・女性と記載する場合があります。
- ・ 日付は、〇〇年と大まかな記載や、X年Y月と符合を用いた表示をします。
- ・ 住所、病院名は、特定できないようA県、B病院などと記載します。
- ・ 家族歴・職業歴などは事例報告に必要不可欠な事項に限定します。
- ・ 画像・検査データ・その他の診療情報は必要な場合に最小限の部分だけ表示することがあります。患者番号や氏名といった個人を特定可能な情報は削除します。顔写真など、容易に個人を特定できる写真は使用しません。
- ・ 事例報告内容は、担当看護師が暗号化できるUSBメモリに保存し、外部への持ち出さないように厳重に管理します。

4. 協力の自由決定について

事例報告の発表にご協力いただくかどうかは、ご自身や家族のお考えで、自由に決めていただきます。お断りになっても不利益を受けることはありません。また、一度同意いただいた後、途中で取りやめることも可能です。ただし、同意取りやめの時点で報告済みの情報や、切り離してしまって誰の情報かわからない情報については、削除できない場合があります。

5. 発表場所

院内および日本運動器看護学会へ事例報告とし発表する予定としています。

以 上

同意書

私は、担当看護師から文書を用いて説明を受け、以下の内容について十分に理解しました上で、診療情報を事例報告へ用いることを同意いたします。

- 事例報告の目的
- 事例報告の方法
- 事例報告への参加が自由である
- 個人情報を守られる
- 同意を拒否、撤回または中止した場合でも不利益を受けることはない
- 個人が特定されないかたちで事例報告が公表される
- 事例報告の保管場所、管理方法について

年 月 日

本人署名： _____

代諾者署名： _____ (続柄 _____)

説明者所属： 熊本リハビリテーション病院 2病棟

説明者氏名： 菱田 美幸

代表連絡先： 096-232-3111